

あり方検討会の設置等について

1 公共交通を取り巻く環境の変化

① 社会情勢の変化

- ・人口減少・少子高齢化の進展
- ・自動車社会の定着
- ・地域公共交通活性化再生法
- ・高知市立地適正化計画の見直し
- ・国と地方の厳しい財政状況
- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・ポストコロナ時代への対応

② 公共交通の課題

- ・すべての公共交通の利用者が年々減少
- ・慢性的な運転手不足と高齢化
- ・公共交通分担率が5%と低い
- ・デジタル化への対応の遅れ
- ・自治体の運行費補助金が年々増加
- ・減便・廃止など更なる利便性の低下
- ・公共交通施設の老朽化への対応
- ・事業者の独立採算による経営の限界

③ その他交通に係る課題

- ・「交通」が最も市民満足度が低い施策
- ・中心市街地のにぎわいづくり
- ・観光による交流人口拡大や地域経済の活性化

2 計画策定（令和4年3月）

- ・交通政策全般を示すマスタープラン「2022 高知市交通基本計画」を策定
- ・公共交通の事業を示すアクションプラン「2022 高知市地域公共交通計画」を策定

3 新型コロナの影響による課題の顕在化

- ・長引くコロナの影響と燃油価格高騰により先行きが不透明。
- ・新しい生活様式へシフト（在宅勤務，リモートワーク，自転車通勤，通信販売の活用）
- ・運転手の人手不足と高齢化に加え，運転手の成り手不足も深刻化
- ・運行の維持確保に注力し，最優先すべき安全安心のための修繕や設備投資の遅れ
- ・運行費補助金など自治体からの事業者支援は今後も増加傾向が見込まれる。

◆コロナ禍による経営危機等に対応するため「とさでん交通中期経営計画」を策定

- ・資金ショートと債務超過の回避に向け追加支援（5年14億円）を自治体に要請
- ・会社設立時の借入金を上回る38億円について返済計画を明記

4 高知市地域公共交通あり方検討会の設置

将来にわたって本市の地域公共交通を維持・確保するため，交通体系，費用分担，利用促進等の抜本的なあり方の検討に対して，専門的見地から意見聴取する。

論点整理

- ・本市のまちづくりの基本方針や利用者ニーズ等を踏まえた真にサステナブルな 交通体系のあり方
- ・受益者負担や安全性確保の観点等を踏まえた地域公共交通の維持・確保に係る 費用分担のあり方
- ・地域経済の活性化や観光振興の観点等も踏まえた地域公共交通の活性化につながる 利用促進のあり方